

# サッカーの攻撃的プレイヤーの守備が試合に与える影響

佐藤 友哉 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 松田 保

キーワード：プレッシング、守備戦術、積極性

## 1. 緒言

現代のサッカーにおいてチームが連動して動くためや、勝利を勝ち取るために、緻密な戦術が重要であることは言うまでもない。特に、守備の戦術は試合前に多くの時間を費やし準備されるべきである。世界の一流の指導者は、得点の決め手となる才能はなかなか見つけだすことはできないが、個人の守備力、チームとしての守備力はトレーニングによって高めることができるかと捉えているのである。また現代のサッカーでは「プレッシングは現代のサッカーでボールを奪取するためや、勝利をつかみ取るためには必要不可欠な守備戦術である」と言える。サッカーでは昔から良い守備が良い攻撃に繋がると言われてきたが、その傾向はますます強くなっているように考えられる。

そこで本研究の目的は、先行研究にある「プレッシング・フットボール」という守備戦術が現代のサッカーにおいても最良の守備戦術と言えるのであろうか。そしてチーム全体の守備戦術としての「プレッシング・フットボール」が、どのように発生し、どのように発展してきたのかを明らかにするものである。

## 2. 研究方法

研究方法は、「プレッシング・フットボール」を定義づけるための先行文献の検討。また研究対象は2010南アフリカ・ワールドカップの決勝トーナメントとする。個人の守備戦術、チームの守備戦術を分析するためや、先行研究と比較するのに十分な大会と言えるため研究対象とした。

## 3. 結果と考察

- 1) 「プレッシング・フットボール」の定義  
ボールを奪われたら、直ちに相手ボール保持者に積極的なプレッシングを開始し、時間的・空間的余裕を持たせず、プレーするエリアをコンパクトに保ちつつ、パスやドリブルでの突破を許さず、組織的に人数をかけてなるべく相手ゴール近くでボールを奪い、ゴールを奪うことを最大の目的とした守備戦術であると定義する。
- 2) 先行研究の考察をまとめると、最良の守備戦術とは「高度に組織された強いチームプレッシングを中心に、対戦相手と環境を分析することの重要性を理解したうえで、攻撃ゾーンでのボールの獲得を目指すべきである。」

## 4. まとめ

サッカーの戦術はワールドサッカーとともに進歩している。現代サッカーにおける守備には、「プレッシング」「積極性」が必要不可欠である。チームとして試合をコントロールするため「プレッシング・フットボール」ではフォワードを含めて全員が守備に参加しなければならない。また試合を通してプレスをかけ続けることは不可能であり、状況により判断してチーム全体が意思統一し、周期的にプレスをかけていくというのが今後の課題点である。

## 参考文献

1. 瀧井敏郎 (1995) ワールドサッカーの戦術：ベースボールマガジン社
2. チャールズ・ヒューズ (1966) サッカー勝利への技術：大修館書店
3. 三村恪一 (2008) サッカー勝敗を左右する守備力：SJ sports